

# 「寿都町対話の場」について（第13～16回）

- （1）「将来のまちのあり姿」をテーマにした自由討論
- （2）文献調査の進捗状況

## （1）「将来のまちのあり姿」をテーマに、自由討論が行われました

これまで4回にわたり、会員同士によるグループ討論が行われてきました。

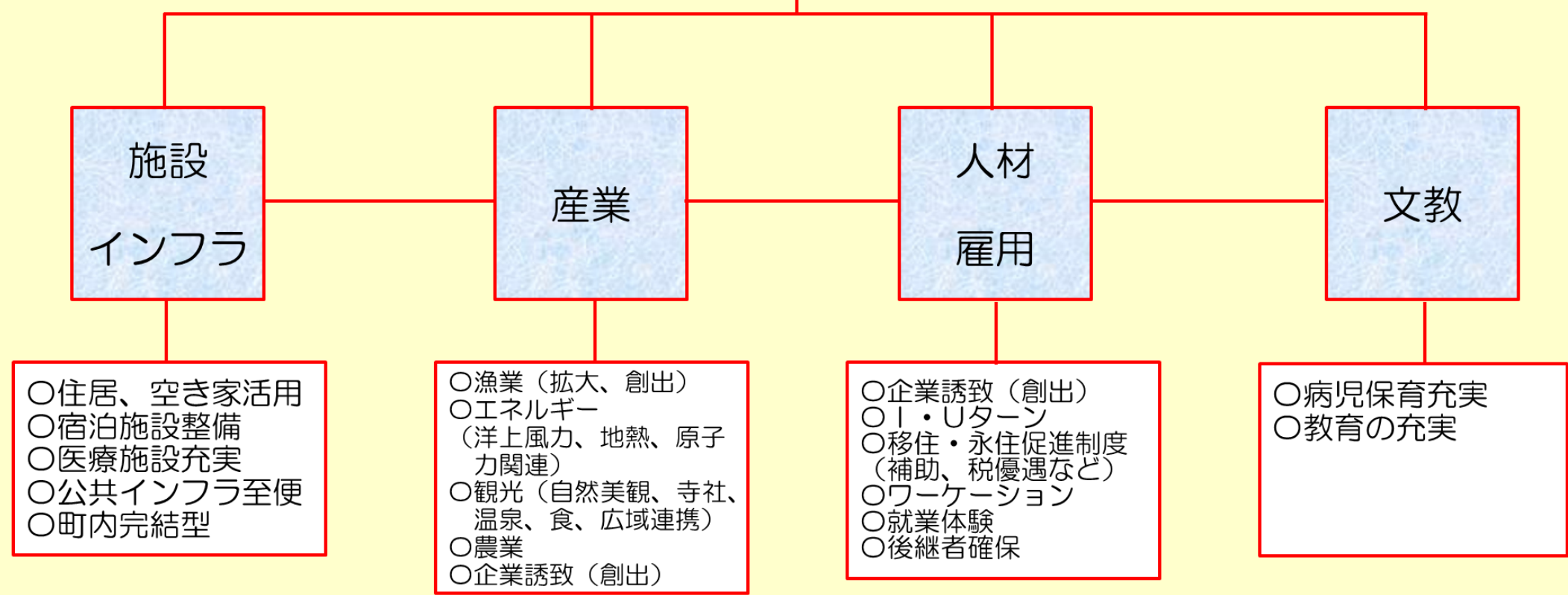


以下は、「将来のまちのあり姿」について、会員から出されたご意見（ビジョン）を取りまとめたものです。

将来のまちのあり姿 ≠ 地域振興策

すべてにおいて、バランスの良いまち

町、事業者の提案・主導・関与によるものではなく、  
会員の方々同士での議論、意見交換によるもの



### <会員からのご意見>

- こうした話しあいは、非常にいい機会であった。この機会を自分事として捉え、幅広く、且つ、深掘りするような話しあいを継続してはどうか。
- 町内には色々な職業の方がいるので、それぞれの得意分野で力を発揮し、アイデアや意見をいただいてはどうか。
- 若者や母親など、色々な立場の人が話しあいの輪に入れるような機会があってもいいのではないか。

「対話の場」だけの議論で終わりにするのではなく、「町内全体で議論することが重要である」との認識に至りました。

## (2) 文献調査の進捗状況について

■NUMOから、これまで数回にわたり、以下の説明が行われてきました。

- ①「収集した文献・データ」に関する有識者のご意見について
- ②国の審議会において審議されている評価の考え方（評価基準など）とそれに沿った寿都町の検討例について

<評価基準などの項目は以下のとおりです>

- 断層等
- マグマの貫入と噴出
- 侵食
- 第四紀の未固結堆積物
- 鉱物資源
- 地熱資源
- 地下の状況のとりまとめ
- 地質環境特性の検討



第16回対話の場の様子

■上記の説明を受け、会員同士で、「疑問点や関心事」「どうしたら市民にわかりやすく伝えることができるのか」など、議論が行われてきました。

<会員からのご意見>

- ・適地、不適地が一目でわかるような地図など、わかりやすい資料を作成してほしい。
- ・どのような判断基準で判別されるのか。
- ・不適となった場合の理由、根拠とはどういったものか。
- ・中立的立場の方が説明すると、わかりやすいし、説得力があると思う。
- ・文献調査で不明な点は、概要調査（ボーリング調査など）を行うべき。

※なお、調査完了後、町のみなさまに、調査の結果についてご説明する予定です。

「対話の場」における配付資料や映像などは、NUMOホームページおよびNUMO寿都交流センターでご覧いただけます。また、記録したDVDもご用意しますので、ご希望の方はお気軽に、寿都町対話の場事務局（NUMO寿都交流センター）までお問い合わせください。



原子力発電環境整備機構(NUMO)  
<https://www.numo.or.jp>

■NUMO トップページから、以下の順にクリックしてください。  
「文献調査の状況」 → 「文献調査中の地域」 → 「北海道寿都町」  
→ 「対話の場」 → 「2023年5月9日 第16回」 → 「開催通知」

NUMOホームページはこちら

NUMO

検索

お問い合わせ先：原子力発電環境整備機構 NUMO寿都交流センター E-mail：suttu@numo.or.jp

〒048-0401 寿都町字新栄町113-1 (TEL)0136-75-7576 (FAX)050-3512-1728

(開館時間：平日10時～17時)